NIE実践報告

1．タイトル：☆「箱(函)館開港新聞」と「横浜開港新聞」を使って調べよう

2．学校名

北海道函館市立宇賀の浦中学校

3．実践者名（代表者名）

平沼　和彦

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　22人

6．単元（本時の学習課題）名

「箱(函)館開港新聞」と「横浜開港新聞」を使って開港当時の興味のある新聞記事を調べよう

7．目標（狙い）

函館と同時に開港した横浜との違いについても関心を高め、意欲的に自らすすんで学ぶ姿勢を高めていく。

8．評価の視点

自分が興味を持った新聞記事を見つけ、その理由を明らかにし、まとめ・全体に発表することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「箱(函)館開港新聞」を使って、開港当時の箱館の様子や出来事の記事を見つけ、発表する。(2時間)
「横浜開港新聞」を使って、開港時の、「箱館」と「横浜」の出来事の違いに気づく。発表する。(2時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)「箱(函)館開港新聞」を使って、開港当時の箱館の様子や出来事についても記事を見つける。
　グループで意見をまとめ、画用紙に書き込み、発表する。(2時間)
(2)「横浜開港新聞」を使って、開港時の「横浜」の出来事の記事を見つける。
　グループで話し合って記事をまとめ、発表し、「箱(函)館」との違いに気付かせる。(2時間)
(留意点)
・新聞全体の見出しを見てから、興味を持った「開港新聞」の記事を読むようにした。
・教科書や資料集に掲載されていた出来事にこだわらず、地域性のある記事を選んでもよいと指導した。
・グループで意見をまとめる時には、意見交流を充分にした後で、決めるようにした。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　開港当時の「箱(函)館」と「横浜」の違いについて、学べたことが一番楽しかったようだった。また、開港当時の「箱(函)館」の様子を知ることができたのもよかった、という意見が多かった。

12．成果と課題

・「開港新聞」の記事を活用したことで、当時の様子や出来事を詳しく読み、理解することが出来た。また、開港150周年のイベントを実施する前に、授業を行うことが出来たので、興味・関心を一段と深めることができてよかった。
・地域性のある話題には、「開港新聞」を用いるのは最適だった。今後は、学習内容を日本・世界に広げていくことができると更によい社会科の授業になると思った。